

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人あづみの森 第3あづみ園			
○保護者評価実施期間	2024年12月10日 ～ 2024年12月25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数)	31名
○従業者評価実施期間	2025年1月6日 ～ 2015年1月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・関係機関と連携し、子どもの支援に反映している。	・併行先へ訪問し、活動の様子を見た後、支援の共有を行う。 ・併行先の先生に來園して頂き、活動の様子を見た後、支援の共有を行う。 ・CFに出席して頂き、子どもの様子の共有及び支援の方向性の共有を行う。	・併行先毎の見学日連携日を設けていく。 ・送迎や電話等で日々の様子の情報交換が出来る体制を整える。
2	・職員間で情報共有がスムーズ。	・子どもの様子や活動等、時間・クラス・担当の枠組みに捉われず情報共有が出来ている。個々の支援方法を職員全体で考えている。 ・フォーマルな会議よりもカジュアルな会議にする事で、職員の意見が出やすい。	・カジュアルな会議の中身(支援プログラムに沿った活動の組み立て、支援方法、支援グッズなど)を充実させていく。
3	・スペースが広い。	・空間の構造化で「○○の部屋」は“△△する場所”としている。 ・活動等ダイナミックな構成が出来る事で、全身を使った遊びが出来る。	・保護者にもおたよりなどで、それぞれの空間の使用方法やねらいを発信し、園での取り組みの認識を高めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者に会う機会が少ない。	・園児の多数が送迎バスを利用している。	・保護者と対面で話をする事で、園児の様子が伝わりやすいので、茶話会や学習会などを開催し來園の機会を増やしていく。
2	・事前打ち合わせや振り返りの時間が少ない。	・事前打ち合わせなど朝礼時にするが、参加者が少ない。 ・振り返りなど、担当者では行っているが、全体でおこなっていない。	・終礼を取り入れ、人員が揃う時間で、活動の振り返りや活動の打ち合わせを実施していく。またカジュアルな会も充実させていく。
3	・スペースは広いが、構造面などリスクが多い。	・未就学園児向きではない。 ・バリアフリーではない。	・リスクが伴う場所は視覚提示や声掛けを強化する。 ・段差では強調テープやカラーコーンを設置し注意を促す。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人あづみの森 第3あづみ園

公表日： 2025年2月14日

利用児童数： 37名

回収数： 31家庭

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	87%	3%	0%	10%	・活動内容に合わせてスペースが確保されていると思います。	・引き続きスペースを区切って対応していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	68%	16%	0%	16%	・先生の人数が多く、ひとりひとりの子どもをしっかり見てくださっていると思います。	・配置基準は満たしております。活動に応じて職員配置を調整し対応していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	77%	10%	0%	13%	・イラストのカードやタイマーを使われていて子どもたちにわかりやすいと思います。 ・子供向け施設の構造ではないと思う	・バリアフリーではない為、引き続き声掛けや視覚物等で注意喚起していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	87%	23%	0%	3%	・綺麗に掃除されていると思います。こどもの目線に合わせていると、思います。	・引き続き、毎日掃除をし清潔の保持を心がけます。
適切な 支援 の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	87%	13%	0%	0%	・相談させていただくと、適切な対応方法を教えて下さったり、よく見ていただけていると感じます。 ・入所前に必要に応じて言語の個別指導があると聞いていたが、その様子はないように感じる。無いなら無いで仕方ないが、しない理由を添えてほしかったと思う。その支援を期待して入所していたので施設(支援)説明との差異を感じている。	・引き続き、相談時には適切な対応が出来る様に心がけます。 ・説明方法や内容について検討していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	77%	10%	0%	13%	・毎週違う遊びをしてもらっているのので色々経験できて良いと思います。	・引き続き、子どもの様子に応じた支援が提供できるようにしていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	94%	6%	0%	0%	・自宅での様子など親の意見を聞き、療育の場での様子を踏まえたうえで支援計画を立てていただいています	・引き続き、子どもの様子や保護者のニーズに対応した支援計画が作成できるようにしていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	87%	3%	0%	10%	・今後の課題を知れて、考えていく材料になります。	・引き続き、子どもの様子や保護者のニーズに対応した支援計画が作成できるようにしていきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	87%	13%	0%	0%	・計画に沿った支援が行われていると思います	・引き続き、子どもの様子に応じた支援が提供できるようにしていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	90%	6%	0%	3%	・保育園とは違い、いつもルールのある遊びをされていて良いと思います。 ・こども達が毎日楽しめるよう、工夫されていると思います	・引き続き、子どもの様子や発達に即した活動を計画していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	71%	10%	6%	13%	・こども園との交流しています。地域はよくわかりません。	・就学前施設との交流は難しいが地域の公共の場を利用した活動を、引き続き実施していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	90%	6%	0%	3%	・書面を用いて、丁寧に説明していただきました	・引き続き丁寧な説明を心がけます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	94%	3%	0%	3%	・支援計画を示しながら支援内容の説明がありました	・引き続き、適切かつ丁寧な対応を心がけます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	84%	6%	3%	6%	・個別指導の際に、子どもへの関わり方を教えていただいています	・引き続き対応していきます。また集団での家族支援などを計画していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	87%	3%	6%	0%	・連絡ノートや個別指導の際に時間を取っていただき、子供の状況がよくわかっていきます ・直接先生と話す機会が少ないのであまり、話せてません。	・引き続き連絡帳や配信アプリを利用して状況の共有をしています。 ・電話相談や面談など対応の告知をし、相談しやすい環境を整えて行きます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	84%	10%	6%	0%	・分からないことが多い中、相談し助言してくださるのでとても助かります。	・引き続き、個別指導や懇談を実施し対応していきます。その他にも懇談会や学習会など検討していきます。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	84%	6%	6%	3%	・日頃の困りごとを相談させてもらっています。 ・職員による不安を煽る発言として受け取ってしまうことが多々あった ・年一回のカンファレンスも医長先生への報告会の印象。そのために、先生たちはこどもたちを観察して、平行遊園先の様子を見に行つて、こどものテストを行う。怒涛の説明、医院長先生のコメントがあつて、終了。親へ説明しているとは思えないスピードで、専門的な数字もあり、理解が追い付かなかつたし質問できる雰囲気でもなかった。沢山の人のスケジュール調整も大変だと思ふが、事務的に報告されて、共感的に支援をされているとは思わない。	・保護者対応について、改めて研修や話し合いを実施し、適切に対応できるようにしていきます。 ・CFについては、CF前後に保護者の方と内容の共有が出来る様に検討していきます
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	48%	19%	10%	23%	・親子活動の後の懇談で保護者の方々の意見を聞き、参考にしていきます。	・引き続き実施はしていくが、より充実を図る為に、懇談会や学習会など検討していきます。 ・きょうだい向けの行事については、利用児の親子での関わりをねらいとして実施する事が多い為、検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	81%	6%	10%	3%	・アプリでいつでも療育施設へ連絡出来る、返信も早いです。 ・いつ相談したら良いかわからない	・引き続き、相談があった場合には迅速かつ適切に対応していきます。また、相談の受け入れ体制について、再度周知していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	77%	13%	10%	0%	・連絡帳やアプリでいつでも連絡出来るので助かります。	・配信アプリやおたよりなどで、わかりやすい伝達をおこなっていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	81%	16%	0%	3%	・毎月園だよりで活動や行事の連絡をしております ・ペーパーレスになると見ないとこが有ります	・引き続き、おたよりを通しての発信や配信アプリを通して、園での取り組みを発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	97%	0%	0%	3%	・留意されていると思います	・引き続き適切に対応していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	94%	0%	0%	6%	・しっかりされていると思います。	・引き続き、発生した際に適切に対応できるように訓練等を実施していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	87%	0%	0%	13%	・定期的な避難訓練で災害に備えていると思います	・引き続き、発生した際に適切に対応できるように訓練等を実施していきます。また定期的に、おたよりにて実施報告を発信していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	84%	13%	0%	3%	・子供の安全は確保されていると思います ・学校を使われているので丈夫なものと、広い園庭もあり安全だと思います。	・引き続き、子ども達が安全に活動できるように対応していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	81%	16%	0%	3%	・些細なケガでも報告していただき、連絡ももらっています。	・引き続き適切に対応していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	84%	10%	3%	3%	・優しく見守ってくださる先生方のおかげで安心して通っていると思います ・安心なところだと思っています。	・引き続き適切に対応していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	81%	19%	0%	0%	・毎回とても喜んで通っています ・楽しみにしています。 ・行きしぶりはない	・引き続き、子ども達が楽しく通所できるように、連携を取りながら支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	81%	13%	0%	3%	・日々の困りごとに対して先生方と一緒に向き合い考え、少しでも日常生活がスムーズになればいいなと思っています。 ・小学生にあがって、支援が遠くなるのが不安。担任の先生との面談や、カンファレンスは短く、相談できる雰囲気ではなかった。 ・こどもを〇〇に例えるのは如何なものかとおもう。非常に不愉快。発言やプリント配布までするのであれば、他の表現を使うべき。発達障害のあるこどもを蔑視してる以外に受け取れません。 ・仕事の都合とかあるので、〇〇までの送り迎えをして欲しい。 ・楽しく通っているのよいと思います。 ・子供も安心して通っています。職員さんの対応もよいです。感謝です。 ・併行して通わせてもらっていますが、子どものことで困ったときに相談できる先があると思うと安心感があります。 ・満足していると思いますが、他と比べることができないので、子どもが嫌がらないから良いのかなあとも、思います。	・現在の課題だけでなくライフステージに応じ予測される事も視野に入れつつ、相談対応出来る様にしていきます。 ・リスクマネジメントの研修等を実施しながら、適切かつ安心して利用して頂ける環境づくりを心がけていきます。 ・併行先の先生とも連携をとりながら三者が園児の様子を共有し支援できるようにしていきます。 ・送迎については、可能な範囲で対応できるように検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日：2025年2月14日				
社会福祉法人あづみの森 第3あづみ園						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・活動によって部屋をかえる ・活動のねらいごとに分けているF7F7:G13	・スペース的には適切であるが、構造上リスクを伴う場所があるので、状況に応じて対応していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	86%	14%	・配置数は適切 ・活動や子どもの様子に応じて人員を増やして対応している。	・基準は満たしているが、1対1での対応が必要な子が重なると、人手がギリギリになる事がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	86%	14%	・バリアフリーではないが、階段やてすりに滑り止めを設置 ・構造として難しいが、各部屋にマークなどをつけ解りやすくしている。 ・ライトや掲示物で注意喚起	・バリアフリーではない為、構造上リスクを伴う場所があるので、引き続き状況に応じてライトや掲示物にて注意喚起していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・活動に応じて使用する空間を使い分けることが出来ている。 ・毎日清掃、消毒をしている	・構造上、こども向けの建物ではないので、視覚物やパーテーションで空間を区切っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・子どもの様子に応じて使用できる場所を変えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・様々な職員の意見を聞いている ・毎月、会議を実施している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・年に1回実施実施し、支援の向上につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・その都度意見を聞いてもらっている。 ・年に2回の面談を実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	29%	71%	・実施していない	・評価を活かし業務改善につながる様に、第三者評価を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・月1回研修を開催し定期的にフォーラムの開催	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・R6年度から作成し公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・CF後に変更している。 ・年に2回懇談を実施している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・関わっている職員の意見を参考にしている	

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・心理士とやりとりしながら確認している ・定期的に発達検査や知能検査を実施している。 集団の様子から日々行動観察を行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	71%	29%	・どんな活動が合っているか相談しているがいつもではない ・リーダーが行っている。	・相談や会議時間として設けていなかったの で、送迎後の時間など終礼を時間を設けて、 相談や情報共有を実施していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・新しい活動を取り入れたり他のクラスの活動 を参考にしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	86%	14%	・子どもの様子に応じて作成	・終礼で日々の振り返りの中で、子どもの様 子を話し、支援計画に反映出来る様にしてい く。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	71%	29%	・チームで支援を実施。	・もっと入念な打ち合わせをすればよかった と感じる日もある。 ・必ず打ち合わせを行っていない事がある 為、終礼の時間を活用し、翌日の確認などを 実施していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	71%	29%	・振り返りの時間を設定し、話し合う場が必要 ・記録や行動で気付き、振り返りの共有が 行っているが必ず打ち合わせを行っていない	・終礼の時間を活用し、その日の活動の振り返 りや翌日の確認などを実施していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	100%	0%	・記録にとりながら次の改善点を話し合っ ている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性 を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・年2回とCF後に見直しをしている	
関係機関や	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・児発管や担当者が実施している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%	・状況に応じた機関と連携している	・体制はある。必要に応じて密な連携を検 討、実施していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の 観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども 園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報 共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・併行先に連携に行き、子どもの状況に応じ た支援内容を共有し一本化する事ができてい る。 ・連携やCFの場を設けている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・特別支援学級に入級する子を中心に実施し ている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携 を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

保護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	100%	0%	・法人内のセンターと連携を取っている	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	71%	29%	・園としては実施していないが、併行先で交流がある ・地域の公園などを利用し活動している	・園としてはないが、園児全員がそれぞれの就学全施設を利用している為、交流はない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	86%	14%	・個別指導や親子活動、懇談、日々の送迎時に話をしている ・配信アプリを活用している ・活動の様子など、写真や動画で伝えている。	・状況を伝えるが、保護者によっては意図が伝わりにくく共有理解が難しい。家庭に応じて伝え方（写真や動画・活動見学）を工夫している。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・個別指導時に個々に合わせた内容で資料を基に実施している	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時に実施している。 ・書面を見ながら実施している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・保護者の意向を参考に作成している。 ・入園時やCFのタイミングで主訴の確認を行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	86%	14%	・適宜行っている ・モニタリング、懇談で実施している。	・送迎で会えない保護者もいるので、電話等での対応になるケースもあるので、丁寧な対応をしている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・個別指導や懇談時に困っている事を聞き、話をしている ・個別指導内で実施している。保護者からの要望がある場合は別途時間を取っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	43%	57%	・保護者会はない。本人支援の為、きょうだいの参加は制限している。 ・クラス単位など少人数で実施している。	・きょうだい同士での関わる機会がある方が望ましいが、普段園児と対1で関わりが少ない家庭も多く、行事などでは対1で関わる時間を設けている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・早急に対応できるようにしている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・月に1回、園だよりやクラスだよりを配布している ・配信アプリで配信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・リスクマネジメントの研修を実施している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・視覚的に丁寧な伝達を心がけている ・保護者からの申し出があれば話した内容を書面にまとめて渡している。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	29%	71%	・緑化活動などを通して交流している	・地域住民を招待しての交流は難しいが緑化活動を通しての交流は継続していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・定期的にマニュアルの確認と訓練を実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・火災、地震等に備えた訓練を定期的に行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・全体で確認し、緊急時に対応できるように掲示している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・指示書を基に対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・定期的に実施している	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	・おたよりにて周知している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	71%	29%	・ファイリングはしてある、いつでも確認できる様にしている	・月1回の会議などで、事例の確認など再発防止に繋げていきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・年に1回、研修を実施している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	・契約時に書面を見ながら説明している	